体 育 学 研 究

第 9 卷 第 4, 5 号

昭 和 41 年 4 月

K. HANADA, H. FUJIYOSHI, and M. KAWASE: A Developmental
Study on the Effects of Physical Activities upon
Personality Traits

身体運動によつて影響される 性格特性の追跡的研究

天理大学 花田 敬一・藤善 尚憲・河瀬 雅夫

1. 研究の目的

われわれが体育を指導する上において、個人の性格を理解し、把握することは、知的・身体的能力と関連して、適切な指導と助言を与え、個人の発展を期待するためにも必要なことと思われる。

このような意味から、身体運動を継続しておこなつた者が、どのような性格を形成し、いかなる精神的変化をもたらすかを研究し、好ましい社会的性格の育成にどのような効果をもたらしているかを調べることは、社会の体育に対する要請の一つであろう。

この問題については、すでに数年来研究され、身体運動の性格におよぼす影響については、運動選手の性格特性として、いろいろな側面から検討され明らかにされつつあるが、いつ頃、どのように変化するかという時期的な問題についての解明は非常に困難である。

そこでわれわれは、運動クラブにはいつて運動をはじめた初期の年代のものが、身体運動を継続することによつて、性格特性にどのような変化を示すかについて、昭和34年から昭和36年までの3年間、同一人についての追跡を試みたが、本研究では1年間追跡し、3年間の資料とあわせてこの問題を解決するための手がかりを得ようとした。(注)

2. 研究の方法

1) 調査の対象とその時期

a) 調査の対象：調査は運動クラブにはいつて運動をはじめた初期の変化を知るために、小学校6年生、および、中学校1年生を対象とした。被験者は天理小学校6年生男女43名(男

注) 花田敬一(他):

運動部経験者の性格特性についての追跡的研究(体育の科学1961, Vol. 11, No.12, p 622~655)

子24名、女子19名)、天理中学校1年生男女98名(男子58名、女子40名)である。その内訳はつぎのとおりである。

●小学校の内訳

運動クラブ所属者……男子17名、女子5名
文化クラブ所属者……男子7名、女子14名
両方の所属者……男子0名、女子0名

●中学校の内訳

運動クラブ所属者……男子25名、女子7名
文化クラブ所属者……男子22名、女子28名
両方の所属者……男子11名、女子5名

なお、小学生の中学校入学後の変化を知るために、小学校時のクラブ所属者の中学校入学後の入部クラブを示すとつぎのとおりである。

小学校の運動クラブから	中学校の運動クラブへ……	男子11名、女子5名
	中学校の文化クラブへ……	男子5名、女子0名
	無所属……	男子1名、女子0名
小学校の文化クラブから	中学校の運動クラブへ……	男子3名、女子1名
	中学校の文化クラブへ……	男子4名、女子12名
	無所属……	男子0名、女子1名

b) 調査の時期: 調査の時期を運動開始期、運動最盛期、運動終了期の3期にわけ、それぞれ昭和38年7月、10月、および、昭和39年2月におこなったものである。

2) 調査手続きと資料の整理

性格検査は矢田部・ギルフォード性格検査学童用、および、中学校用を使用し、検査手引にしたがって実施したが、3回の検査の条件を同一にするために、必要事項はすべてテープ・レコーダーによつておこなった。

資料の整理は、運動クラブに所属しているものを実験群、文化クラブに所属しているものを対象群として、3回の検査を完全に受けた者のみを整理集計した。

集計は粗点を標準点に換算し、特性、特性群、プロフィールの型について個人の変化を中心とし、それぞれに含まれる人数とその百

分率を示し、また全体的傾向をみるために、粗点の平均値と標準偏差を算出した。結果の有意差検定には、 X^2 検定、および、t 検定をもちいた。

標準点による整理は、矢田部・ギルフォード性格検査手引によつておこなったが、特性の移動については、左右への移動量の多少をみようとした。(注1)

特性群は、同一の傾向を示す特性(一次因子尺度群)をまとめて3つの群としてその移動をみた。プロフィールの型の分類は、検査手引、および、松田らの分類を参考としてつぎの7つに分類した。(注2)

1. 左寄り型(安定消極型)
2. 右下り型(安定積極型)
3. 中間型、平均型(平凡型)
4. 右寄り型(不安定積極型)
5. 左下り型(不安定消極型)
6. 不定型(判定不能型)
7. 動揺型(同一の傾向を示す特性群のうち、相反する反応を示すもの)

以上の型について、それぞれ典型、準型、亜型の分類をしたが、判定は同一の型として含めて集計した。

なお、3回の調査結果についてのおもな観点はつぎのとおりである。

- a) 運動クラブ所属者の変化の傾向性。
- b) 文化クラブ所属者の変化の傾向性。
- c) 運動クラブと文化クラブの所属者についての各回ごとの比較による変化の傾向性。
- d) 中学生の1年間の1回目と3年間の1年目の結果の比較による変化の傾向性。

3. 結果とその考察

1) 平均値による比較(第1表)

注1. 加重得点とは、各特性の標準点が、左または右へ1, 2, 3と移動したものにいて、それぞれ1点2点3点を与え、それを合計したものである。

注2. 松田岩男: 運動選手の性格特性と“あたり”に関する研究

(体育学研究, 1961, Vol. 6, No. 1, P. 355)

第1表 運動クラブ部員と文化クラブ部員の性格特性の追跡 (平均値による)

				D	C	I	N	O	Co	Ag	R	G	T	A	S	V
小学校	1年	男子	運動部員 17名	1回	4.4	3.1	2.5	3.4	3.8	3.6	4.7	5.2	3.6	3.5	4.1	4.8
				2回	2.09	1.73	1.57	2.01	2.10	1.55	1.92	1.92	1.68	2.06	1.27	1.64
				3回	4.2	3.2	2.5	3.0	3.9	3.8	4.9	5.5	3.8	3.8	4.5	5.8
				1回	2.32	1.64	1.69	1.92	1.97	1.57	1.64	2.19	1.70	1.71	1.61	1.55
				2回	3.6	3.5	2.4	2.8	3.8	3.8	4.9	5.4	4.7	4.3	4.3	5.3
				3回	2.69	2.20	2.03	2.48	2.05	2.06	1.58	1.48	2.23	1.72	1.61	2.06
		女子	文化部員 7名	1回	4.7	4.3	2.8	4.3	4.1	4.7	5.5	5.1	2.3	4.0	2.4	3.3
				2回	1.73	2.31	1.58	1.77	2.44	2.23	1.53	2.04	1.88	2.89	1.64	2.60
				3回	4.8	4.4	2.7	3.3	4.4	2.4	5.3	4.3	1.6	4.5	3.4	3.8
				1回	3.38	1.46	2.23	1.58	1.46	1.02	1.16	2.28	1.02	2.48	1.79	3.36
				2回	3.3	4.1	1.7	3.7	3.0	2.1	5.0	3.8	3.4	4.7	3.7	3.8
				3回	2.53	2.28	1.16	1.78	1.20	1.53	2.53	2.55	0.42	1.87	1.97	2.15
		女子	運動部員 5名	1回	4.8	4.2	3.4	6.0	4.4	4.0	5.4	4.4	4.4	4.4	4.8	5.8
				2回	2.31	1.53	2.53	2.13	2.20	2.13	1.79	1.67	2.45	0.95	1.58	2.05
				3回	5.0	3.8	2.8	5.4	4.2	3.6	5.4	4.2	4.8	4.8	4.4	5.8
				1回	3.58	1.39	2.65	2.62	2.08	2.57	1.62	1.34	1.90	1.39	1.21	1.58
				2回	4.8	5.6	3.4	4.4	4.2	3.4	6.0	4.2	6.0	5.6	5.4	6.0
				3回	4.17	1.68	3.25	2.56	2.55	3.97	1.68	2.71	1.68	2.20	1.75	1.99
		女子	文化部員 14名	1回	5.3	4.9	4.0	5.4	4.3	3.8	5.5	5.5	3.9	3.7	4.0	4.7
				2回	1.62	1.29	2.64	2.04	1.71	1.90	1.59	2.21	2.00	1.97	1.81	2.12
				3回	4.2	4.7	3.5	4.7	3.6	2.9	5.0	5.3	3.3	3.8	3.9	4.5
				1回	2.79	1.79	2.28	1.56	2.34	2.53	1.99	2.16	2.25	1.55	1.29	2.41
				2回	4.5	4.5	3.1	4.3	4.3	3.5	5.0	5.3	4.0	4.2	4.1	5.1
				3回	2.81	1.68	2.18	1.56	2.44	2.55	1.82	1.80	1.98	1.70	1.90	2.42
中学校	1年	男子	運動部員 25名	1回	7.8	10.5	9.4	8.9	8.8	8.8	12.8	12.2	12.3	10.8	7.8	6.6
				2回	4.72	2.98	4.25	4.43	4.18	3.61	3.42	4.59	3.06	4.00	3.72	4.25
				3回	9.5	9.6	8.7	9.3	7.8	9.2	12.6	12.8	12.0	10.7	8.2	7.4
				1回	6.45	3.85	5.05	5.43	4.48	4.64	3.63	4.70	4.67	3.87	4.76	5.19
				2回	8.0	10.2	8.5	9.1	7.8	7.3	11.4	12.3	13.2	10.2	8.4	7.0
				3回	5.76	4.11	4.81	5.21	4.37	4.38	4.10	4.75	3.65	4.51	5.14	5.36
		女子	文化部員 22名	1回	9.3	9.6	8.4	9.1	8.8	9.6	12.0	10.7	11.2	10.0	8.8	7.6
				2回	4.00	3.10	4.43	4.34	3.59	3.07	3.35	3.70	2.77	3.05	3.94	3.76
				3回	9.4	9.9	8.3	9.1	8.1	9.6	12.6	11.9	11.1	12.2	9.4	7.9
				1回	4.92	4.91	4.96	4.85	4.20	2.48	2.83	3.84	3.16	3.20	3.78	3.95
				2回	6.5	9.0	7.9	9.1	8.1	8.7	11.9	11.2	11.4	11.5	9.6	8.2
				3回	5.21	4.36	5.05	5.35	3.86	4.15	3.48	4.56	3.49	4.37	3.85	5.20
		女子	運動部員 7名	1回	8.9	8.3	7.7	7.6	10.6	9.4	13.3	12.0	14.0	8.9	6.6	4.4
				2回	4.14	4.12	4.89	3.35	2.82	2.94	1.98	4.13	2.31	3.14	3.74	2.37
				3回	9.3	8.3	8.6	7.3	8.7	9.4	12.3	13.4	14.6	7.7	6.1	3.9
				1回	6.27	2.63	3.91	3.36	2.69	3.21	2.69	4.44	2.76	4.54	4.88	2.74
				2回	8.4	8.1	6.6	6.0	7.9	7.1	10.4	13.7	13.3	8.7	5.7	3.4
				3回	4.80	3.67	3.61	4.54	3.24	3.39	2.23	4.35	1.25	4.10	3.82	2.10
		女子	文化部員 28名	1回	9.5	10.2	8.7	9.1	8.7	8.7	12.4	11.9	11.9	12.9	9.0	7.1
				2回	4.36	4.60	3.25	3.67	3.82	3.39	3.11	3.25	3.55	4.25	3.69	3.89
				3回	9.0	9.9	9.2	8.5	8.6	9.0	12.2	13.8	12.4	10.6	9.1	7.8
				1回	4.48	3.73	4.64	4.15	3.85	3.47	3.56	4.45	4.52	4.50	5.25	4.64
				2回	7.8	9.5	8.3	8.1	7.7	8.4	10.8	13.4	11.5	9.7	7.9	6.4
				3回	5.99	4.66	5.31	5.71	4.36	4.53	3.81	3.89	4.17	5.15	5.17	4.85
	3年	男子	運動部員 56名	1年	7.9	9.7	7.7	9.2	7.7	10.5	12.3	13.3	11.9	10.0	9.7	8.5
				2年	4.76	4.79	5.18	4.43	3.93	4.77	4.18	4.47	4.52	3.21	4.61	4.66
				3年	9.3	9.7	8.2	9.2	7.6	10.4	12.3	13.5	12.5	9.7	10.1	8.6
				1年	4.44	3.71	4.99	4.82	4.05	3.83	3.41	4.37	3.53	4.23	4.13	4.55
				2年	9.3	9.7	7.5	8.7	8.1	8.9	12.4	12.4	11.1	11.7	7.7	5.9
				3年	5.07	4.66	5.15	5.24	4.26	4.06	2.52	5.01	2.88	3.47	4.30	6.08
		女子	文化部員 38名	1年	10.1	9.6	8.6	9.0	9.2	9.3	9.5	9.2	11.5	11.6	9.3	6.3
				2年	4.02	4.09	4.10	3.84	3.98	4.67	3.97	3.78	3.58	3.56	3.31	2.79
				3年	8.5	10.1	9.4	9.2	8.0	10.0	12.1	11.2	11.7	9.6	10.7	9.4
				1年	5.11	4.99	5.11	4.29	3.61	3.90	3.89	4.14	4.07	4.27	4.51	4.08
				2年	9.0	10.2	8.8	9.5	8.4	10.5	11.6	12.3	12.3	9.8	10.3	9.3
				3年	5.68	4.91	5.05	4.58	4.33	3.74	3.69	4.75	3.46	4.49	3.80	3.98
	3年	女子	運動部員 19名	1年	10.7	11.1	8.7	10.2	9.5	9.2	10.8	14.0	13.1	10.4	7.5	6.1
				2年	3.95	4.40	3.23	3.44	3.52	3.98	2.90	3.50	3.47	3.69	3.39	5.21
				3年	10.2	10.9	8.3	9.0	8.8	9.0	11.0	14.2	12.7	10.2	7.1	6.6
				1年	5.25	3.50	5.69	4.44	2.88	4.85	3.69	3.13	4.30	2.83	3.86	4.96
				2年	9.0	10.0	9.0	7.5	8.2	8.0	12.1	12.0	12.2	10.3	7.5	6.2
				3年	5.12	3.76	3.33	3.97	4.27	3.38	3.91	4.86	3.96	3.82	3.55	4.41
		女子	文化部員 56名	1年	10.1	9.7	8.7	8.7	8.4	8.2	8.3	11.6	10.7	10.9	8.3	6.9
				2年	5.16	3.92	4.32	4.24	4.74	2.38	3.64	4.53	3.67	3.65	3.76	3.77
				3年	9.6	10.4	9.0	9.5	7.7	9.6	10.5	11.7	10.0	11.0	9.9	8.3
				1年	4.98	4.21	5.08	4.54	4.12	4.34	3.50	3.67	3.88	3.94	3.88	4.37
				2年	11.0	11.3	9.3	10.5	8.4	9.7	10.8	11.3	10.9	11.3	9.7	9.2
				3年	4.69	4.59	4.86	4.69	4.45	4.35	3.07	3.57	3.67	3.82	3.67	3.92

運動クラブ所属者と文化クラブ所属者について、全体的傾向をみるために、平均値によつて比較すると、プロフィールとしてみた場合は、全体が平均化され個人の特徴がみいだされないために、ほとんど同じような傾向を示すので、各特性ごとの変化を比較した。

小学校の結果では、運動クラブ所属者、文化クラブ所属者のどちらも大きな変化はみとめられないが、女子の運動クラブ所属者はG特性 (General Activity) が高くなる傾向がみられた。

運動クラブ所属者と文化クラブ所属者の比較では、男女とも、運動クラブ所属者のG特性、A特性 (Ascendance)、S特性 (Social extraversion) が、文化クラブ所属者より高い得点を示し、運動クラブ所属者は、文化クラブ所属者に比較して、活動的で、支配性が強く、社会的に外向の傾向がみられるが、男子のT特性 (Thinking Activity)、女子のR特性 (Rhythymia) が低い得点を示し、一般に運動選手の性格特性と考えられている性格特性とは逆の傾向がみられた。このことは、小学校から中学校へはいつてからの所属クラブの変動にみられるように、特に男子の場合は、運動クラブから文化クラブにかわつた者が約35%、文化クラブから運動クラブにかわつた者が約43%を示していることから、小学校における運動クラブ、文化クラブの区別や、運動に対する興味の傾向が未分化の状態であると思われるので、このような区分から一定の方向性をみいだそうとするのは困難で、危険であるかも知れないが、小学校においては運動クラブからの影響はあまり考えられない。

中学校においても、各特性、プロフィールとも小学校と同様、ほとんど同じような傾向を示し、運動クラブ所属者、文化クラブ所属者とも有意差はみとめられなかつたが、傾向性としては、男子はあまり変らないが、女子では文化クラブ所属者に比して、運動クラブ所属者のR特性が高く、T特性、A特性、S特

性が低い得点を示し、運動選手の性格特性として考えられている傾向と一致するように思われる。

つぎに中学生について3年間追跡した結果をみると (第1表)、有意差のみとめられたのは、N (Nervousness)、Ag (Aggressiveness)、G、R、T、A、Sの各特性であつた。

そこで3年間の結果の1年目と1年間の結果の1回目 (ともに中学校1年生) を比較してみると、女子の運動クラブ所属者のAg特性が危険率5%、文化クラブ所属者のAg特性が危険率1%で有意差が認められたが、他の特性間の有意差はみとめられなかつた。

この結果から推測する限り、運動クラブ所属者と文化クラブ所属者の性格特性の変化は1年間ではあまりかわらないが、3年間ではかなりの変化をもたらし、運動クラブ経験者は、活動的で、支配性が強く、社会的外向の傾向を示し、特に女子では吞気さの度合いが高くなるように思われる。

しかしながら、これらの特性はすでに小学校6年、中学校1年において、文化クラブ所属者よりかなり高い得点を示していることから考えれば、このような性格特性をもつた者が運動クラブにはいつて運動を経験することにより、この傾向がさらに助長され、固定化していくのではなからうか。この点の解明は今後の大きな課題としてのこされるであろう。

2) 個人の標準点による移動の比較

平均値による比較では全体が平均化されるため、個人の変化をみることができない。

そこで、個人の得点から特性、特性群、プロフィールの型をみるために、粗点を標準点に換算してその変化をみようとした。

① 特性の移動 (第2表)

小学校では、1回目から2回目、2回目から3回目への変化は運動クラブ所属者、文化クラブ所属者とも有意差は認められなかつたが、変化のしかたはかなり異なるように思われる。即ち、運動クラブ所属者の男子はI特性 (Inf-

第2表 運動クラブ所属者と文化クラブ所属者の性格特性の追跡（標準点による）—

1回目から2・3回目への各特性の標準点の移動

対象	小学校男子										小学校女子										中学校男子										中学校女子									
	運動部 (N=17)					文化部 (N=7)					運動部 (N=8)					文化部 (N=4)					運動部 (N=25)					文化部 (N=22)					運動部 (N=7)					文化部 (N=20)				
	移動方向	左へ	右へ	加重移動量	移動量	左へ	右へ	加重移動量	移動量	左へ	右へ	加重移動量	移動量	左へ	右へ	加重移動量	移動量	左へ	右へ	加重移動量	移動量	左へ	右へ	加重移動量	移動量	左へ	右へ	加重移動量	移動量	左へ	右へ	加重移動量	移動量	左へ	右へ	加重移動量	移動量			
一回目から二回目へ	D	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N				
	C	2	5	4	2	9	8	1	0	4	0	3	4	0	1	2	0	1	2	1	6	2	0	8	2	1	7	9	4	8	14	1	5	7	0	6	7			
	I	1	3	8	0	5	3	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	1	5	4	0	7	4	1	7	7	2	8	10	0	6	6	1	6	7				
	N	0	3	3	0	3	3	1	1	2	0	3	2	0	1	0	0	1	0	1	2	0	0	4	0	0	8	5	0	8	5	0	4	5	0	4	5			
	O	1	0	4	0	5	4	1	2	0	4	0	0	3	0	0	3	0	3	3	3	1	9	5	1	7	7	3	8	10	0	5	6	0	2	3				
	Co	0	6	5	0	6	5	0	1	2	1	1	4	0	2	2	0	2	2	1	4	2	0	7	2	2	9	5	2	11	7	1	7	5	1	8	6			
	Ag	1	5	4	1	7	6	2	2	0	0	6	0	2	1	0	2	1	4	4	1	0	13	1	0	6	10	2	6	12	0	4	6	1	4	7				
	R	0	3	6	1	3	8	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1	1	3	0	5	3	0	6	6	2	6	8	1	4	6	1	5	8				
	G	0	3	5	2	3	9	0	2	0	0	2	0	1	0	1	1	2	1	2	4	0	4	4	2	5	7	7	9	0	3	11	1	3	12					
	T	0	4	4	1	4	6	1	1	0	0	3	0	0	2	3	0	2	3	0	5	2	0	5	2	0	2	6	0	2	6	0	1	3	1					
二回目から三回目へ	A	1	2	5	0	4	5	1	0	3	1	2	5	0	2	0	0	2	0	2	0	3	3	0	3	3	0	7	4	1	7	5	2	10	1	0	12			
	S	0	3	8	0	3	8	0	0	2	0	0	2	0	1	0	1	1	1	1	3	0	3	2	5	6	0	7	6	2	5	4	0	8	4	0				
	D	0	4	4	2	4	8	0	0	3	0	0	3	0	1	0	0	1	0	1	5	3	0	7	3	4	9	6	0	13	6	1	3	6	1					
	C	1	6	4	2	8	8	0	2	1	0	2	1	0	1	1	0	1	0	2	2	1	2	4	3	6	4	0	9	4	0	6	1	0	6					
	I	3	4	2	1	10	5	0	2	0	0	2	0	0	1	0	0	1	0	6	2	1	6	4	1	7	4	0	8	4	0	9	3	0	9					
	N	1	8	4	1	10	7	0	0	1	0	0	1	1	1	0	3	1	1	2	2	1	4	4	1	9	6	0	10	6	0	6	2	2						
	O	3	2	4	2	10	8	1	4	0	0	6	0	1	1	0	1	1	0	3	6	1	3	8	1	9	6	1	10	7	0	5	4	1						
	Co	1	2	6	0	4	6	1	2	0	0	4	0	1	1	0	3	1	0	2	4	3	2	10	3	14	3	0	17	3	3	8	4	0						
	Ag	3	4	4	1	11	6	0	2	3	0	2	3	0	0	9	0	3	2	4	2	1	8	4	2	10	2	1	12	3	2	7	3	0						
	R	2	3	4	1	7	6	1	1	0	1	3	2	0	1	1	0	4	2	1	4	0	2	1	4	0	3	4	0	3	4	1	10	5	0					
三回目から四回目へ	G	0	2	4	2	8	0	0	4	1	0	6	0	1	2	0	1	2	0	3	1	3	3	2	10	5	1	12	6	0	4	4	0	4	0					
	T	0	6	2	2	6	6	1	0	2	0	2	2	0	2	3	0	2	3	0	3	2	7	0	5	7	1	5	8	0	3	8	0	2	0					
	A	0	3	1	1	3	3	0	0	2	0	0	2	0	0	3	0	0	4	4	1	4	6	1	7	5	0	8	5	2	6	5	1	8	6					
	S	0	3	5	0	3	5	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	3	2	1	7	0	6	6	0	6	8	1	6	4	1	8	5	0				

- (注) 1) 区分欄のNは人数をあらわし、表中の数字はそれぞれに含まれる人数を示したものである。
 2) 移動方向の左、右は各特性の標準点が、それぞれ左または右に移動することをいう。
 3) 加重得点移動量とは、左または右へ各特性の標準点が1, 2, 3と移動したのについて、それぞれ1点, 2点, 3点を与え、その合計をしたものである。
 4) 移動量2以上(1以上)とあるのは標準点が2点以上(1点以上)の移動を示したものである。

eriority Feelings) が左へ移動し、R特性、A特性が右へ移動するのに対して、文化クラブ所属者の男子は、N特性、Co特性(Lack of Cooperativeness)が左へ移動し、T特性が右へ移動する傾向を示し、共通して移動する特性にD特性、(Depression)、G特性があげられる。

また女子では 共通して 移動する特性にN特性があげられるが、運動クラブ所属者より文化クラブ所属者の移動が多い傾向がみられる。

このように運動クラブ所属者と文化クラブ所属者の性格特性の変化はいくらか異なつた傾向を示すことがうかがえる。一般にG特性S特性、T特性、A特性等については、運動クラブ所属者のほうが活動的で支配性が強く、社会的・思考的に外向の傾向を示すように考えられているが、この結果では特に差はなく、逆の傾向が認められるものもあり、平均値の

比較での傾向と同じことがいえる。

中学校においては、1回目から2回目、2回目から3回目への移動のうち差の大きいものをみると、男子ではD特性、Co特性、Ag特性が共通して左へ移動し、女子ではI特性、N特性、O特性(Lack of Objectivity)がともに左へ移動する傾向がみられるが、有意差検定の結果では、運動クラブ所属者の男子のCo特性、R特性が危険率1%で低くなり、文化クラブ所属者の男子のT特性が危険率1%で変化する傾向がみられたが、他の特性間の差はみとめられなかつた。

このことは、運動クラブ所属者と文化クラブ所属者の性格特性の変化について、共通の移動を示すものが多く、所属クラブによる差はあまり認められないが、一、二の特性についての差が、それぞれのクラブ集団内での行動をとおして性格の固定化に役立ち、その蓄

第3表 1回目から2, 3回目への各特性群の移動

対象	回	群	男				子				女				子			
			運動クラブ所属(N=425)		文化クラブ所属(N=424)		運動クラブ所属(N=424)		文化クラブ所属(N=424)		運動クラブ所属(N=424)		文化クラブ所属(N=424)		運動クラブ所属(N=424)		文化クラブ所属(N=424)	
			左へ	0	右へ	不定	左へ	0	右へ	不定	左へ	0	右へ	不定	左へ	0	右へ	不定
小学校	二回目から三回目へ	情緒安定性	6	3	5	3	1	3	1	2	1	3	0	1	6	1	2	5
		社会的適応性	2	6	4	5	1	3	0	3	1	2	1	1	7	5	1	1
		活動性・向性	2	6	3	6	1	4	1	1	1	2	1	1	2	5	2	5
	三回目から四回目へ	情緒安定性	7	2	4	4	3	4	0	0	0	2	1	2	4	4	3	3
		社会的適応性	4	5	3	5	2	3	0	2	0	2	1	2	3	3	3	5
		活動性・向性	1	8	3	5	0	4	1	2	0	3	0	2	3	3	3	5
中学校	二回目から三回目へ	情緒安定性	10	5	7	3	3	8	5	6	0	3	2	2	6	7	4	11
		社会的適応性	4	10	8	3	3	10	6	3	2	4	0	1	3	10	5	10
		活動性・向性	2	15	1	7	4	10	3	5	1	3	3	0	6	3	9	10
	三回目から四回目へ	情緒安定性	7	10	5	3	7	12	1	2	3	2	0	2	9	8	3	8
		社会的適応性	9	10	0	6	10	13	0	4	2	4	1	0	7	17	2	2
		活動性・向性	3	14	1	7	6	6	4	6	0	6	1	0	1	10	6	11

- (注) 1) 表中の数字はそれぞれに含まれる人数を示したものである。
 2) 移動方向の0はわからないものを示し、左への移動とは、情緒的安定、社会的適応、非活動的・内向の方向へむかうことを意味し、右への移動とは、その反対の方向へむかうことを意味する。
 3) 移動方向の不定とは同一の傾向を示す特性群の中で、各特性が左と右へそれぞれ移動し、群として定まった方向へ移動しないことを意味する。

積が運動選手の性格特性としてはつきりしたものとしてみられるのであろう。

② 特性群の移動(第3表)

同一の傾向を示す特性を一つの群としての移動をみると、

小学校では男女とも、社会的適応群、向性・活動性群の変化は特にみられず、情緒安定群が安定の方向へ移動する傾向がみられるが、全体として群の移動が不定のものが多い。

中学校においては、有意差は認められないが、男子については、2回目から3回目への変化のうちで運動クラブ所属者、文化クラブ所属者とも、社会的適応の方向へ移動する傾向を示すのに対して、女子ではともに情緒的安定、活動的・外向の方向に移動する傾向を示し、男女による移動の差が小学校よりやや明確化してくるようである。

またこの特性の変化のうち、群としての移動の方向が特性の変化と同様一定しないもののがかなりみられるが、このことは小・中学校とも、性格の固定化への段階における一

第4表 個人の性格プロフィールの型の1回目との変化

対象	回	群	人		変		変		変		変		変		変		変	
			数		数		数		数		数		数		数		数	
			人	数	人	数	人	数	人	数	人	数	人	数	人	数	人	数
小学校	男子	運動部	17	10	7	0	1	4	0	0	0	2						
		文化部	7	5	2	0	1	0	0	0	0	1						
		運動部	5	2	3	1	0	6	0	0	0	0						
	女子	運動部	14	11	3	0	0	2	1	0	0	1						
		文化部	7	5	2	0	0	1	0	0	0	1						
		運動部	5	2	3	0	1	0	1	0	0	0						
中学校	男子	運動部	25	18	7	0	1	3	0	2	1	2						
		文化部	22	13	9	0	2	1	0	0	2	4						
		運動部	7	5	2	0	2	0	0	0	0	0						
	女子	運動部	26	16	12	1	4	3	0	2	1	5						
		文化部	25	15	9	0	1	2	0	0	1	4						
		運動部	22	14	8	0	0	6	1	1	1	4						
中学校	女子	運動部	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0						
		文化部	20	19	9	1	4	1	1	1	1	1						

つの過程であり、今後の指導により影響される可能性を示しているように思われる。

③ プロフィールの型の変化

(第4表、第5表および第1図)

特性群をまとめて性格プロフィールとし、全体的な性格構造の変化をみるためにプロフィールの型によつて比較すると、小・中学校とも変わらない者が多く、変わった者の型の内容はおもに中間型と動揺型であつた。

各回ごとの分布の割合(第1図)をみると、

第5表 個人の性格プロフィールの1年間の
変化

学 校	学年	学年	男 子				女 子				全 体	
			運動部 (N=25)		文化部 (N=12)		運動部 (N=25)		文化部 (N=12)		人数	順位
			人数	順位	人数	順位	人数	順位	人数	順位		
小 学 校	1	1	0	1	1	0	0	0	1	1		
		7	0	0	0	0	0	1	1	1		
		3	2	1	0	1	0	0	0	1		
	2	2	1	0	1	0	0	0	0	1		
		7	1	0	1	0	0	0	0	1		
		1	2	0	0	0	1	0	1	1		
	3	2	1	0	1	0	0	0	1	1		
		3	4	0	4	①	0	0	0	4	②	
		7	1	0	1	0	1	1	1	2	③	
	4	7	0	0	0	0	1	1	1	1		
		7	1	0	1	0	1	0	0	1		
		3	3	0	0	0	0	1	1	1		
中 学 校	3	4	1	0	1	0	0	0	0	1		
		3	2	1	0	1	0	0	0	1		
		5	0	0	0	0	1	1	1	1		
	5	5	1	1	2	②	0	1	1	3	③	
		7	0	1	1	0	0	0	0	1		
		2	7	1	1	2	③	0	0	0	2	④
	7	3	1	0	1	0	0	0	0	1		
		4	0	0	0	1	0	1	1	1		
		7	1	0	1	1	0	1	1	2	④	
	7	2	0	0	0	0	1	1	1	1		
		3	0	1	1	0	0	0	0	1		
		7	1	2	3	②	2	7	9	12	①	
高 学 校	2	2	3	2	5	②	2	3	5	②	③	
		7	0	1	1	0	0	0	0	1		
		1	2	0	0	0	1	1	1	1		
	3	2	0	1	1	2	3	5	②	6	④	
		2	1	0	1	0	1	1	1	2	③	
		3	4	4	8	①	2	1	3	③	①	
	5	4	1	0	1	0	0	0	0	1		
		7	0	2	2	③	0	1	1	3	②	
		2	0	0	0	0	1	1	1	1		
	7	3	0	1	1	0	0	0	0	1		
		4	0	1	1	0	0	0	0	1		
		5	0	1	1	0	0	0	0	1		
大 学 校	5	3	1	0	1	0	0	0	0	1		
		4	0	1	1	0	0	0	0	1		
		5	0	1	1	0	0	0	0	1		
	7	3	0	0	0	0	1	1	1	1		
		4	0	0	0	0	1	1	1	1		
		7	0	1	1	0	1	1	1	2	③	
	7	3	0	0	0	0	1	1	1	1		
		4	0	0	0	0	1	1	1	1		
		7	3	1	4	④	0	0	0	4	②	
	7	5	1	1	2	④	0	1	1	3	②	
		1	0	0	0	0	1	1	1	1		
		2	0	0	0	0	1	1	1	2	③	
7	3	1	1	2	④	0	0	0	2	③		
	5	1	0	1	0	1	1	1	2	③		
	7	5	2	7	②	1	3	4	11	①		

運動クラブ所属者の男子に左下り型がみられるのに対して、女子では文化クラブ所属者のみであり、全体としては右下り型、中間型、左下り型、動揺型の四つの型に含まれる者が多いようである。このうち動揺型については

第1図 性格プロフィールの1回ごとの変化
(各回ごとの割合)

文化クラブに所属する男子がもつとも多くみられる。

このようなプロフィールの型の変化の仕方は、3年間の変化とほぼ同様の傾向を示し、運動の性格におよぼす影響は、特性としての変化はいくらか認められるが、全体的性格構造としての把握は困難ではないと思われる。

4. 総括

身体運動が性格特性におよぼす影響をみるために、小学校6年生と中学校1年生に矢田部・ギルフォード性格検査を1年間実施して、運動をはじめた初期のものの性格特性の変化を、特性、特性群、プロフィールの型によつて追跡した。

その結果、運動クラブ所属者と文化クラブ所属者の性格特性には特に顕著な差異はみとめられなかつた。また変化の過程においては、運動クラブ所属者の性格特性として変化する

と思われるものに、小学校では女子のG特性、中学校の1年間ではCo特性、R特性、T特性、3年間の変化ではN特性、Ag特性、G特性、R特性、T特性、A特性、S特性があげられる。また有意差はみとめられないが、小学校中学校とも、1年間の変化のうち、G、A、Sの各特性については、運動クラブ所属者のほうが、文化クラブ所属者より、支配的・活動的で外向性が強い傾向がみうけられ、このような性格特性をもつた者が多く運動クラブにはいるのではないかと考えられる。

特性群については、小学校、中学校の運動クラブ、文化クラブの各所属者も、情緒安定の方向へ変化するものが多いが、群としての移動の方向性については不定のものもかなりみられ、この時期の性格形成の過程における一つの現象であるともみることができよう。

プロフィールの型としては、変化しないものも多く、変化するもののほとんどは中間型と動揺型が多い傾向がみられた。

小学校におけるクラブ活動では、中学、高校、大学のような確立されたクラブ活動ではなく、むしろ、中学入学後のクラブ活動の準備的要素をもつたものと考えられる。したがって、クラブ所属別による性格特性を比較した結果、一般に考えられている運動選手の性格とは逆の傾向を示すものもあつた。このことは、小学校においては、運動に対する興味の傾向が決定しないものも多く、運による性格への影響もきわめて少ないようである。

以上の結果から、小学校や中学校1年生においては、運動クラブ、文化クラブのどちらの所属者も、所属するクラブから影響されてつくられるそのクラブ員に共通的なパーソナリティを形成するまでにいたらず、それぞれのクラブにおける経験の蓄積が、その後における性格の固定化に役立つものと思われる。

(本研究は1963年度文部省科学研究費によるものである。)

参 考 文 献

- 1) 辻岡美廷: 矢田部・ギルフオード性格検査, 心理学評論 Vol. 1 No. 1: p. 70~100 (1957)
- 2) 辻岡美廷: 矢田部・ギルフオード性格検査研究手引(I)―基礎と応用―, 竹井機器工業株式会社 (1960)
- 3) 田原, 辻岡, 安藤: 学童用矢田部・ギルフオード性格検査手引, 竹井機器工業株式会社
- 4) 矢田部, 園原, 辻岡: 矢田部・ギルフオード性格検査手引, 竹井機器工業株式会社
- 5) 岩原信九郎: 教育と心理のための推計学, 日本文化科学社 (1962)
- 6) 戸川, 肥田野: 性格心理学講座 I; 性格の理論, 金子書房, p. 57~105, (1963)
- 7) 野口義之: 体育の社会心理学的測定, 不昧堂書店 p. 7~55, (1964)
- 8) 野口義之: 運動選手の性格特性についての研究, 体育学研究, Vol. 2, No. 5, p. 227, (1957)
- 9) 松田岩男: 運動選手の性格特性と“あがり”に関する研究, 体育学研究 Vol. 6, No. 1, p. 355, (1961)
- 10) 花田, 竹村, 丹羽, 藤原: 運動部経験者の性格特性についての追跡的研究, 体育の科学, Vol. 11, No. 12, p. 622~625, (1961)
- 11) 花田, 丹羽, 竹村, 藤原: 運動部経験者の性格特性についての研究, 体育学研究, Vol. 7, No. 1, p. 12~14 (1962)
- 12) 花田敏一: 運動部経験者の性格特性についての追跡的研究, 体育学研究, Vol. 7, No. 1, p. 431 (1962)
- 13) 遠藤辰男: 運動能力と性格, 体育学研究, Vol. 8, No. 1, p. 407 (1963)
- 14) Cattell, R. B. Personality: A Systematic Theoretical and Factual Study. Mc Graw-Hill Book Company, Inc. (1950)
- 15) Branchard, B. E. A Comparative Analysis of Secondary-School Boy's and Girl's Character and Personality Traits in Physical Education Classes. Research Quarterly, Vol. 7, No. 1 p. 33~39, (1946)
- 16) McCloy, C. H. and Hepp, F. General Facetters or Components of Character as Related to Physical Education. Research Quarterly Vol. 28, No. 3 p. 269~278 (1957)
- 17) Whittle, H. D. Effect of Elementary School Physical Education upon Aspects of Physical, Motor and Personality Development. Research Quarterly Vol. 32, No. 2 p. 249~260 (1961)

A Study on the Effects of Physical Activities upon Personality Traits

By

K. Hanada, H. Fujiyoshi, and M. Kawase,
Tenri University

The effects of physical activities upon personality traits were observed by applying the Yatabe-Guilford Personality Inventory to elementary school sixth graders and junior high school first graders, three times in a year. The changes in the personality traits of these subjects were pursued respected to the kinds traits, the parts of profiles and the patterns of profiles.

No remarkable differences were observed between the personality of athletic and non-athletic club members both in elementary and junior high school. In elementary school, the effects of physical activities was found very little. Almost all of the subjects have not yet developed their interests in specific fields. Some of athletic club members showed reverse effect to the generally accepted idea of the "athletic-type". In junior high school, neither athletic nor non-athletic club members have not yet formed any personality related to the respective club. It is concluded that more experiences is necessary in their club activities for forming the personality related to the respective club.

Study on the Timing Control

The Influence of the Visual Functions to the Timing Action

By

H. Yamada,
Nagoya University

Perception of spatial change of the moving object is one of the most important functions on timing action in sports. The moving objects includes balls, the body of the opponent players, and so on. The purpose of this study is to clarify the relationship between the visual perception and timing action to the moving object. The relationship between accommodation of the eyes which is one of the essential visual functions, and timing error.